

医学部後援会

◆後援会の講演会

後援会では、毎年6月に開催される定時総会の際、本学の先生方に講演をお願いしております。

最近では、木南英紀学長、新井一医学部長、代田浩之順天堂医院長、金子和夫整形外科学教授、宮野武練馬病院名誉院長、酒井シヅ名誉教授の諸先生に講師をお引き受け頂き、大学の発展する状況、医学教育や研究の現状、箱根駅伝のエピソード等、後援会員にとって興味深くまた有益なお話を伺ってきました。平成27年度の定時総会では、アトピーセンター長の奥村康特任教授（免疫学）に『免疫と長生き』という後援会員としては、タイトルを聞いただけで興味関心をそそられる演題で講演をしていただきました。

当日の講演は大盛況のうちに終了しましたが、奥村先生には懇親会にもご出席頂き、会員の質問にお答え頂いた上、講演会の続編となるお話までして頂きました。本稿では、奥村先生の講演内容のほんの触りを皆様にご紹介したいと思います。

《世の中では「酒や煙草は体に悪い」という様な神話が大手を振ってまかり通っています。そして神話に騙される人は真面目な人が多いようです。いい加減で不真面目な人は、世の中は同様だと思っているからか、神話は信じにくいのです。そして真面目一辺倒というのは何らかの制約を受けた結果、ストレスも大きくなります。大きなストレスは免疫力を低下（NK細胞を不活性化）させると云う研究結果も出ています。たまには羽目を外して不真面目に生きることが出来れば、ストレスを発散でき、もっと長生きできたのでは…。

「憎まれっ子、世にはばかる」と言いますが、全くその通り。長生きするには適度な不真面目さが大事なのです。神話に縛られることなく、肩の力を抜いて生きられる人が少しでも増えたら、長寿者が増えて世の中も明るくなるのでは…。皆様も今日からストレス発散の為に一寸だけこれまでの枠を出て、少しだけ不真面目に…楽しいですよ！…以下省略》

後援会は、今後とも定時総会において、本学の先生方に講演をお願いしたいと思っておりますので、ご意見ご希望がありましたら後援会役員、事務局までご連絡下さい。

(医学部後援会 副会長 内田 真人)

後援会事務局への連絡がある方は、下記へお願い致します。
本郷・お茶の水キャンパス事務局 学生課内
医学部後援会事務担当 木村（宛） 電話 03-5802-1021